

NEWS

「2023 愛知環境賞」表彰式

主催／愛知県 共催／環境パートナーシップ・CLUB、中日新聞社



左から 名古屋港木材倉庫(株)代表取締役 野間順一氏、環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 会長 小池利和氏、愛知県知事 大村秀章氏

優秀賞

名古屋港木材倉庫株式会社 (名古屋市南区)

<事例の名称> 剪定枝葉等を燃料とする都市型バイオマス発電事業
~焼却処分する廃棄物からクリーン電力へ~

<受賞事由> 公園・道路等の維持管理で発生する剪定枝葉を燃料とした都市型バイオマス発電事業を通じて、地産地消のビジネスモデルを構築したことは、カーボンニュートラルの実現による脱炭素社会の形成に大きく貢献するものと評価された。

- ・日 時：令和5年2月9日(木) 午後3時15分
- ・場 所：ホテルメルパルク名古屋
2階 コンベンションホール「瑞雲」
(名古屋市東区)

*愛知環境賞について

愛知県では、企業・団体などが行う先駆的で効果的な環境取組を「愛知環境賞」として、環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 及び中日新聞社と共同で表彰しています。

本年度は、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など39件の応募がありました。

『優秀賞』を受賞された「名古屋港木材倉庫(株)」の取組は、今号の「企業訪問・資源循環レポート」にて、同社の「NPLW (Nagoya Port Lumber Warehouse Biomass Power Plant) バイオマスパワープラント」の概要と併せて、ご紹介をさせていただきます。